\*赤字は提出時には削除してください

表題：

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・の影響

著者名：

北畜太郎1・草地　茂1・海道　学2・産　会子2

所属機関名、市町村名、郵便番号：

1農業•食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター　北海道札幌市 062-8555

2XX大学大学院Y学研究院　北海道ZZ市 xxx-xxxx

和文キーワード\*5個以内、50音順：キーワード：採食行動、泌乳牛、・・・・・

連絡著者氏名：連絡著者：北畜太郎

所属：農業•食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター

住所：北海道札幌市豊平区羊ヶ丘１

電話番号：Tel：aaa-bbb-cccc

ファックス番号：Fax：ddd-eee-ffff

Eメールアドレス：E-mail：xxx@yyy

英文表題：

Effect of ・・・・・・

英文著者名：

Taro Hokuchiku¹, Shigeru Sochi¹, Manabu Kaido2 and Aiko San2

英文所属機関名、市町村名、郵便番号：

1Hokkaido Agricultural Research Center, NARO, Sapporo, Hokkaido 062-8555, Japan

2College of Y Sciences, XX University, ZZ, Hokkaido 069-8501, Japan

英文キーワード\*5個以内、順序は和文キーワードの並びに従う：Keywords：feeding behavior, dairy cow, ・・・・・

略表題 \*和文は15文字以内、英文は40文字以内：

・・・・・・・・・・の効果

**要約**

\*総説で600字程度、原著論文で400字程度、研究ノートおよび技術レポートでは300字程度とする

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

**Abstract**

\*原著論文には250語程度の英文要約もつける

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・.

**緒言**

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

**材料および方法**

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

**結果**\*結果および考察はひとまとめにして記述してもよい

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

←図1

←表1

\*本文の図、表、写真の挿入場所は矢印を付けて指定する

**考察**

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

**謝辞**\*謝辞の必要がある場合は考察の後につける

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

**文献**

\*文献リストは、まず筆頭者名のアルファベット順に、同一著者による複数の文献があれば発表順に整理する

\*同一著者による複数の文献が同一年にあれば，発表年の後に大文字のアルファベットで区別する

・雑誌に掲載された文献の記載は、

全員の著者名 (発行年) 表題. 雑誌名, 巻:最初-最終ページ.

の順とする。

例1. 英文雑誌文献

Zhao, D.L., G. N. Atlin, L. Bastiaans and J. H. J. Spiertz (2006) Cultivar weed-competitiveness in aerobic rice: Heritability, correlated traits, and the potential for indirect selection in weed-free environments. Crop. Sci., 46:372-380.

\*筆頭著者のみFamily name, First nameのイニシャル.の順

\*第二著者以降はFirst nameのイニシャル. Family nameの順

\*著者名の区切りは「,」、但し、最終著者の前は「and」

例2. 和文雑誌文献

佐々木清綱・松本久喜・西田周作・細田達雄・茂木一重 (1950) 牛の血液型に関する研究. 日畜会報, 27:73-76.

\*著者名の区切りは「・」

\*雑誌名略例

・北海道畜産草地学会報→北畜草会報

・日本畜産学会報→日畜会報

・日本草地学会誌→日草誌

・単行本の記載は、

著者名 (発行年) 書名. 版. 引用ページ. 出版社. 発行地.

の順とする。

また、分担執筆項目部分の引用の場合は、

著者名 (発行年) 項目名. 書名. 版. 編集または監修者名. 引用ページ. 出版社. 発行地.

の順とする。

例3. 英文単行本

Nalbandov, A. V. (1963) Advances in neuron endocrinology. 2nd ed. 156-187. Univ. of Illinois Press. Urbana.

例4. 英文単行本 (分担執筆)

Folley, S. J. and F. H. Malpress (1948) Hormonal control of mammary growth. in The Hormones vol. I. (Pincuss, G. and K. V. Thimann, eds.) 695-743. Academic Press. NewYork.

例5. 和文単行本

諏訪紀夫 (1977) 定量形態学. 第１版. 12-23. 岩波書店. 東京.

例6. 和文単行本 (分担執筆)

吉田　実 (1984) 3.2.3ラテン方格法. 畜産における統計的方法（第三版）. 吉田　実・阿部猛夫監修. 62-69. 中央畜産会. 東京.

・電子資料の記載は、

発信機関名 (発信年) ホ－ムペ－ジの名前. 機関名. 所在地; [引用年月日]. URL.

の順とする

例7. 電子資料

National Center for Biotechnology Information (1990) Nucleotide-nucleotide BLAST (blastn) [homepage on the Internet]. National Center for Biotechnology Information. Bethesda; [cited 13 December 2002]. Available from URL: http://www.ncbi.nlm.nih.gov/blast/

・特殊な刊行物を引用する場合は、下記にならい全タイトルを記す

例8. 特殊な刊行物

農林水産省統計情報部編 (1990) 平成元年食肉流通統計. 347-351. 農林統計協会. 東京.

**図表**

\*図表は、投稿時には説明文と供に原稿末尾に付け加える

掲載決定時に、そのまま印刷が可能な原図を提出する

表についてはExcel形式、図についてはPowerPoint、JPEGもしくはPNG形式での提出が望ましい

表は、最上線は二重の実線、他は全て実線とする

また、縦わく線は用いないこととする

図表中の文字フォントはMS明朝、英数字はTimes New Romanとする

表1. ・・・・・・・・・・





図1. ・・・・・・・・・・